

VOICE 移住者の声 01

荒場さん一家

正人さん(夫)
由衣さん(妻)
糸真さん(長女)
千咲さん(次女)
ももこさん(三女)
(都城市出身)



子ども達がのびのび育つ

つながりのある暮らし

■移住したきっかけ

勤務先から市内への居住を勧められたことをきっかけに、曾於市へ移住しました。移住前は知り合いがおらず、子育てや教育面に不安もありましたが、実際に暮らしてみると買い物や通学・通学で不便を感じることは少ないです。

■移住してどう感じた

地域の方々がとても親切で、隣近所の方から野菜やお菓子をいただくこともあります。夫は趣味でギターを弾いており、地域のイベントに声をかけてもらい演奏したこともあるなど、地域とのつながりを感じています。また転職した際には新規就業補助金を活用することができ、市の支援制度が充実していることも心強く感じました。今後、子ども達が気軽に遊べる場所がさらに充実すると、子育て世代にとっても期待しています。

■素敵なお宅ですね

空き家バンクで購入し、リビングと水回りはリフォームしました。生活環境が良かったことに加え、広い庭で子ども達が思い切り遊べるのが購入の決め手でした。リフォームには市の補助金も活用しました。

■よく行く場所は

市内の飲食店によく家族で行きます。中でもお気に入りのは、たから温泉です。温泉で体を癒した後に食堂で食事を楽しみ、畳のスペースでくつろぐ時間が家族の大切なひとときです。

■今後の暮らしは

地域の方々とつながりがあるので、これから先も安心して暮らしていけると感じています。人口が多すぎず少なすぎず、人との距離感がちょうど良いところが曾於市の魅力だと思います。これからも家族とともに地域との関わりを大切にしながら暮らしていきたいです。

特集

このまちで見つけた 暮らしと仕事

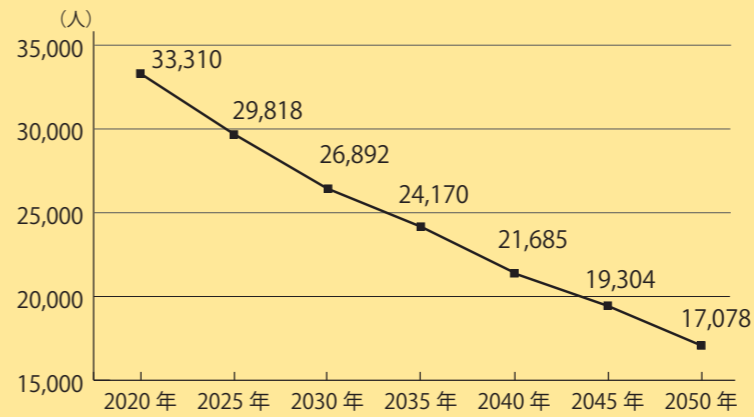


曾於市では少子高齢化の進行にともない、人口減少が続いています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後人口は減少していくことが見込まれており、地域の担い手不足や地域コミュニティの維持など、さまざまな課題への対応が求められています。

そのような中、曾於市に新たな暮らしの場として移り住み、地域の一員として活躍する方もいます。豊かな自然や温かな人とのつながり、子育てや仕事のしやすさなど、移住のきっかけはさまざまです。

普段暮らしていると当たり前前に感じている風景や文化、人との関わりも、移住者の目には新鮮で魅力的に映ることがあります。今回の特集では曾於市を選び、この地で暮らす方々をご紹介します。移住者の皆さんが感じる市の魅力から、普段は気づかない地域の良さが見えてくるかもしれません。

将来推計人口の変化



出典 国立社会保障・人口問題研究所(令和5年12月22日公表資料)

※ 2020年は国勢調査による実績値

年齢区分別の人口割合

	2025年	2050年
0～14歳人数(割合)	3,027人(10.2%)	1,447人(8.5%)
15～64歳人数(割合)	13,111人(44.0%)	6,726人(39.4%)
65歳以上人数(割合)	13,680人(45.9%)	8,905人(52.1%)
75歳以上人数(割合)	7,656人(25.7%)	5,646人(33.1%)

知っておきたい移住支援制度



問 企画政策課 定住推進係 ☎0986-76-8802

奨学金返還支援事業

市内に居住し就業する34歳以下の方を対象に、奨学金返還の負担軽減を図るため、前年度に返還した奨学金の一部または全部を補助します。

対象者	補助上限額
年度末時点で29歳以下	20万円
年度末時点で30歳以上	10万円

※年度内に30歳になる方は「30歳以上」に含まれます



住宅取得祝金制度

市内に住宅を新築または購入した方に最大100万円の祝金を交付します。



祝金額	基準日 (令和5年4月1日以降)
基本支給	30万円
転入加算	50万円
子ども1人(18歳以下)	10万円
子ども2人以上	20万円



移住就業支援金制度

東京23区(在住者または通勤者)から曾於市へ移住し、対象となる就業や起業などの要件を満たした場合に、移住支援金を受給できます。

対象者	支給額
単身者	60万円
2人以上の世帯 ※18歳未満の子ども1人につき100万円加算	100万円



結婚新生活支援事業

新婚世帯に対し引っ越し費用や家賃などを補助します。申請には各種要件がありますので、事前に企画政策課までお問い合わせください。

対象者	補助上限額
夫婦ともに満29歳以下	60万円
上記以外の夫婦ともに満39歳以下	30万円



空き家バンク

空き家バンクは、売りたい・貸したい空き家の情報を登録し、利用希望者へ市ホームページなどで紹介します。空き家バンクに登録された物件に対して、改修補助金や家財撤去補助金を利用することができます。



食の支援事業

市内に住む新婚世帯および転入子育て世帯に対し、米・肉・旬の野菜を合計4回支給します。



VOICE 移住者の声 02

カナディアンキャンブ
乗馬クラブ SOO

前原 汐里さん(姉)
里帆さん(妹)
(南九州市出身)



里帆さん

汐里さん

乗馬を通じて曾於市の魅力を発信 姉妹で始めた新しい暮らし

■移住したきっかけ

汐里さん 福岡県のカナディアンキャンブ乗馬クラブで20年間勤務していました。令和6年4月にSKLVとともに「カナディアンキャンブ乗馬クラブSOO」がオープンすることになりました。鹿児島県出身ということもありスタッフとして働くことが決まり、曾於市に移住しました。

里帆さん 鹿児島市内でスイミングスクールのインストラクターとして働いていましたが、姉の移住を機に曾於市へ移住しました。現在は姉と一緒にカナディアンキャンブ乗馬クラブSOOで働いています。

■移住に対する不安は

移住するまで曾於市のことはまったく知りませんでした。自然が好きなので不安はありませんでした。福岡で暮らしていたので、地元の鹿児島

に帰れるという気持ちの方が強かったです。住まいは空き家バンクを利用して、財部町の空き家を購入し姉妹で暮らしています。

■移住してどう感じた

買い物などの利便性が高く、暮らしやすさを感じています。また地域の子どもから大人まで多くの方が乗馬クラブに足を運んでくださり、気軽に声をかけてくれるので、人の温かさを感じています。

■今後の暮らしは

まずは市内の方に乗馬クラブの魅力を知ってもらい、子どもから大人まで気軽に来れる場所になりたいです。そして地域に根付いた施設として、多くの方に愛される乗馬クラブを目指します。また全国から外乗を目的に訪れる方もいるので、乗馬を通じて曾於市の魅力を発信していきたいです。